



## 研究テーマ

1 汚染対策：重金属等の土壌・水質汚染のリスク評価と対策技術の研究

2 社会・国際：高度外国人材受入、日本語教育・教員養成、国際交流・支援

3 環境：将来の社会・生活環境への取り組み



## 伊藤 健一

いとう けんいち  
国際連携機構  
国際連携センター

准教授

## キーワード

◆汚染対策：重金属、ひ素、土壌汚染、自然由来、リスク、環境地盤工学、水処理

◆社会・国際分野：日本語教育、日本語教員養成、多文化共生、地域国際化、高度外国人材、他

特許情報・  
共同研究・  
応用分野など

I. 科研費（基盤研究(C)）  
水/土壌比から求める重金属溶出評価モデルの開発（2019-21）、加速的手法による自然由来重金属含有土壌の長期変質・溶出挙動予測に関する研究（2022-24）

II. 競争的資金  
平成29年度宮崎市地域貢献学術研究助成事業「高度外国人材就業のための日本語・キャリア教育と地域産業人材の国際化に関する研究」、他

III. 共同研究（概要）

【汚染対策】酸性土評価方法の開発、自然由来重金属含有土壌の溶出特性評価、酸性濁水処理の検討、重金属含有土壌不溶化処理、他

## 研究概要

汚染対策と社会・国際において、将来の社会・生活環境に向けて広く取り組んでいます。

【汚染対策】土壌や水質の環境汚染に対して、自然の現象、特に鉱物等の作用に学んだ環境リスクの評価、環境負荷の低い対策の研究に取り組んでいます。

【国際・日本語教育】外国人住民等の増加等、国際化が進む地域社会が目指す多文化共生に向けて、日本語教育や教員養成、また留学生など外国人受入れ・雇用等における支援の取り組みを行っています。

## 1 汚染対策：重金属等の土壌・水質汚染のリスク評価と対策技術の研究

人為的な汚染土壌や、トンネル等の建設工事に伴い発生する地質由来のひ素等を含む自然由来重金属含有土壌等について、その長期的な溶出リスクの評価や、不溶化等の汚染拡散防止対策等を研究しています。また、2018年の宮崎県硫黄山の噴火で発生した酸性濁水の対応に協力し、石灰石を使った低環境負荷型の中和処理対策を提案しています。



硫黄山の酸性濁水対策

## 2 社会・国際：高度外国人材受入、日本語教育・教員養成、国際交流・支援

地方の国際化、多文化共生社会に向けて、①産学官が連携した高度外国人ICT人材導入事業「宮崎-バングラデシュ・モデル/スタイル:B-JET」、②外国人在住者増加に備えた地域の日本語教育人材育成として履修証明プログラムによる学生・社会人向けの「日本語教員養成研修」の開講、③次世代の国際人材育成と多文化共生に向けた地域の国際交流・教育の支援、等を行っています。



B-JETでのバングラデシュ高度ICT人材の留学による就業・定着支援

## 3 環境：将来の社会・生活環境への取り組み

汚染対策も国際化対応も、広くこれからの社会・生活環境に向けた対策・改善であり、「広く理解を深めてもらう」、「次世代への教育」等が重要となります。そのために、様々な機会にセミナー、意見交換、地域の取り組みへの参加などを行っています。



高校での国際交流に向けたやさしい日本語指導の様子

## ホームページ

宮崎大学国際連携機構国際連携センター  
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/kokusai/>

## 技術相談に応じられる関連分野

◆汚染対策：土壌・水質の重金属等の無機有害物質による汚染対策、および関連分野の環境対策

◆社会・国際：日本語教育/教員養成、外国人受入れ・支援、多文化共生推進、他

## メッセージ

環境汚染も社会環境の変化も、広くは「人の生活『環境』の問題」。これまでの民間・研究・社会での経験を活かして、「技術×人」で社会課題の解決に貢献したいと考えています。